レジメン名称	AML201寛解導入A		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	寛解で地固めへ
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
イダマイシン	12mg/㎡	DIV	30分	day1-3
キロサイド	50mg/㎡	DIV	12時間	day1-7
キロサイド	50mg/㎡	DIV	12時間	day1-7

備考

レジメン名称	AML201寛解導入B		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	寛解で地固めへ
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	50mg/㎡	DIV	30分	day1-5
キロサイド	50mg/㎡	DIV	12時間	day1-7
キロサイド	50mg/㎡	DIV	12時間	day1-7

備考

レジメン名称	AML201 地固め（HD-AraC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	–	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
シタラビン	2000mg/m2	DIV	180分	day1-5
シタラビン	2000mg/m2	DIV	180分	day1-5

備考

60歳以上で1500mg/m2へ減量。投与回数血球回復の期間により10回から8回へ変更可。

地固め療法は再発がなければ3回繰り返す。

レジメン名称	AML201 地固め（HD-AraC）【ステロイド前処置】			
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	−	
総コース数	−	プレメディケーション	グラニセトロン、ソルコーテフ	

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
シタラビン	2000mg/m2	DIV	180分	day1-5
シタラビン	2000mg/m2	DIV	180分	day1-5

備考

60歳以上で1500mg/m2へ減量。投与回数血球回復の期間により10回から8回へ変更可。

地固め療法は再発がなければ3回繰り返す。

レジメン名称	AML201 地固め第１（MIT+AraC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	－
総コース数	－	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	7mg/m2	DIV	30分	day1-3
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	AML201 地固め第2（DNR+AraC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	–	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	50mg/m2	DIV	30分	day1-3
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	AML201 地固め第3（ACR+AraC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	－
総コース数	－	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	20mg/m2	DIV	30分	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	AML201 地固め第4（A-triple-V）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	–	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
エトポシド	100mg/m2	DIV	120分	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/m2	DIV	12時間	day1-5
オンコビン	0.8mg/m2	IV	緩徐に	day8
フィルデシン	2mg/m2	IV	緩徐に	day10

備考

オンコビンmax：2mg

レジメン名称	CPX351寛解導入療法		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	–	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ビキセオス	100ユニット/m2	DIV	90分	day1・3・5

備考

中心静脈カテーテル又は末梢穿刺中心静脈カテーテルから投与

レジメン名称	CPX351地固め療法		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ビキセオス	65ユニット/m2	DIV	90分	day1・3

備考

中心静脈カテーテル又は末梢穿刺中心静脈カテーテルから投与

レジメン名称	CPX351非寛解（第2サイクル）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ビキセオス	100ユニット/m2	DIV	90分	day1・3

備考

中心静脈カテーテル又は末梢穿刺中心静脈カテーテルから投与

レジメン名称	GML200寛解導入A（DNR+BHAC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	寛解で地固めへ
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	40mg/㎡	DIV	30分	day1-3
サンラビン	200mg/㎡	DIV	180分	day1-8

備考

70歳以上でダウノマイシン30mg/m2に減量。

検査結果にてダウノマイシンとサンラビンの追加投与あり

レジメン名称	GML200地固め第1（MIT+BHAC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	7mg/㎡	DIV	30分	day1-3
サンラビン	200mg/㎡	DIV	180分	day1-5

備考

70歳以上でノバントロン5mg/m2に減量。

レジメン名称	GML200地固め第2（DNR+ETP+BHAC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノルビシン	30mg/㎡	DIV	30分	day1-2
エトポシド	100mg/㎡	DIV	2時間	day1-3
エノシタビン	200mg/㎡	DIV	3時間	day1-5

備考

70歳以上でダウノルビシン25mg/m2、エトポシド75mg/m2に減量。

レジメン名称	GML200地固め第3（ACR+BHAC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	14mg/㎡	DIV	30分	day1-5
サンラビン	200mg/㎡	DIV	180分	day1-5

備考

70歳以上でアクラシノン10mg/m2に減量。

レジメン名称	GML219寛解導入（DNR+AraC）65-69歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	寛解で地固めへ
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	45mg/㎡	DIV	30分	day1-3
キロサイド	50mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-7
キロサイド	50mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-7

備考

レジメン名称	GML219寛解導入（DNR+AraC）70-74歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	寛解で地固めへ
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	35mg/㎡	DIV	30分	day1-3
キロサイド	50mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-7
キロサイド	50mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-7

備考

レジメン名称	GML219地固め第1（MIT+AraC）65-69歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	7mg/㎡	DIV	30分	day1-3
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	GML219地固め第1（MIT+AraC）70-74歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	5mg/㎡	DIV	30分	day1-3
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	GML219地固め第2（DNR+AraC）65-69歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	40mg/㎡	DIV	30分	day1-2
シタラビン	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
シタラビン	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	GML219地固め第2（DNR+AraC）70-74歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ダウノマイシン	30mg/㎡	DIV	30分	day1-2
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	GML219地固め第3（ACR+AraC）65-69歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	16mg/㎡	DIV	30分	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	GML219地固め第3（ACR+AraC）70-74歳用		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	-	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	14mg/㎡	DIV	30分	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5
キロサイド	100mg/㎡×2	DIV	12時間	day1-5

備考

レジメン名称	アザシチジン（点滴・5-HT3拮抗薬あり） ＋ イボシデニブ		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7
ティブソボ	500mg/day	p.o	－	day1-

備考
高脂肪食摂取前後の投与を避ける
強いＣＹＰ３Ａ阻害剤と併用する場合には、本剤の１回用量を２５０ｍｇに減量

レジメン名称	アザシチジン（点滴・5-HT3拮抗薬あり） ＋ ベネトクラクス		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7
ベネクレクスタ	100mg/day	p.o	－	day1
ベネクレクスタ	200mg/day	p.o	－	day2
ベネクレクスタ	400mg/day	p.o	－	day3-

備考

ベネクレクスタは併用薬に応じて減量(強いCYP3A阻害薬1/8、中程度CYP3A阻害薬1/2)投与期間を短縮する場合もあり

レジメン名称	アザシチジン（点滴・5-HT3拮抗薬なし） ＋ イボシデニブ		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7
ティブソボ	500mg/day	p.o	－	day1-

備考
高脂肪食摂取前後の投与を避ける
強いＣＹＰ３Ａ阻害剤と併用する場合には、本剤の１回用量を２５０ｍｇに減量

レジメン名称	アザシチジン（点滴・5-HT3拮抗薬なし） ＋ ベネトクラクス		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7
ベネクレクスタ	100mg/day	p.o	－	day1
ベネクレクスタ	200mg/day	p.o	－	day2
ベネクレクスタ	400mg/day	p.o	－	day3-

備考

ベネクレクスタは併用薬に応じて減量(強いCYP3A阻害薬1/8、中程度CYP3A阻害薬1/2)投与期間を短縮する場合もあり

レジメン名称	アザシチジン（点滴）【7日間】（5-HT3拮抗薬あり）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7

備考

レジメン名称	アザシチジン（点滴）【7日間】（5-HT3拮抗薬なし）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	DIV	10分	day1-7

備考

レジメン名称	アザシチジン（皮下注・5-HT3拮抗薬あり） ＋ イボシデニブ		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	－	day1-7
ティブソボ	500mg/day	p.o	－	day1-

備考
高脂肪食摂取前後の投与を避ける
強いＣＹＰ３Ａ阻害剤と併用する場合には、本剤の１回用量を２５０ｍｇに減量

レジメン名称	アザシチジン（皮下注・5-HT3拮抗薬あり） ＋ ベネトクラクス		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	－	day1-7
ベネクレクスタ	100mg/day	p.o	－	day1
ベネクレクスタ	200mg/day	p.o	－	day2
ベネクレクスタ	400mg/day	p.o	－	day3-

備考

ベネクレクスタは併用薬に応じて減量(強いCYP3A阻害薬1/8、中程度CYP3A阻害薬1/2)投与期間を短縮する場合もあり

レジメン名称	アザシチジン（皮下注・5-HT3拮抗薬なし） ＋ イボシデニブ		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	－	day1-7
ティブソボ	500mg/day	p.o	－	day1-

備考
高脂肪食摂取前後の投与を避ける
強いＣＹＰ３Ａ阻害剤と併用する場合には、本剤の１回用量を２５０ｍｇに減量

レジメン名称	アザシチジン（皮下注・5-HT3拮抗薬なし） ＋ ベネトクラクス		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	－	day1-7
ベネクレクスタ	100mg/day	p.o	－	day1
ベネクレクスタ	200mg/day	p.o	－	day2
ベネクレクスタ	400mg/day	p.o	－	day3-

備考

ベネクレクスタは併用薬に応じて減量(強いCYP3A阻害薬1/8、中程度CYP3A阻害薬1/2)投与期間を短縮する場合もあり

レジメン名称	アザシチジン（皮下注）【7日間】（5-HT3拮抗薬あり）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	ー	day1-7

備考

レジメン名称	アザシチジン（皮下注）【7日間】（5-HT3拮抗薬なし）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アザシチジン	75mg/㎡	s.c	－	day1-7

備考

レジメン名称	キザルチニブ単独		
癌腫	FLT3-ITD変異陽性の 急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	ー

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ヴァンフリタ	26.5mg×1	経口	ー	day1-14
ヴァンフリタ	53mg×1	経口	ー	day15-

備考

強いCYP3A阻害剤と併用する場合は、減量基準を参考に1段階減量。併用終了後は減量前の投与量に戻すこと。

レジメン名称	ギルテリチニブ単独			
癌腫	FLT3遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病	1コース期間	−	
総コース数	−	プレメディケーション	−	
プロトコール内容				
薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ゾスパタ	120mg×1	経口	−	day1-

備考

患者の状態により適宜増減するが、1日1回200mgを越えないこと。

レジメン名称	移植後再発（ACR+BHAC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	14mg/㎡	DIV	30分	day1-7
サンラビン	200mg/㎡	DIV	180分	day1-7

備考

レジメン名称	再発難治CAG（ACR+AraC）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
アクラシノン	14mg/㎡	DIV	30分	day1-4
キロサイド	10mg/㎡×2	S.C	ー	day1-14
フィルグラスチム	75μg	S.C	ー	day1-14

備考

アクラシノンは70歳以上で10mg/m2に減量。

レジメン名称	再発難治GO		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	1コース（2回）	プレメディケーション	ソルコーテフ、ポララミン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
マイロターグ	9mg/㎡	DIV	120分	day1.15

備考

レジメン名称	再発難治HAM【ステロイド前処置】		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン、ソルコーテフ

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
シタラビン	2000mg/㎡×2	DIV	180分	day1-4
ノバントロン	10mg/㎡	DIV	30分	day3-5

備考　　day1-4はグラニセトロン×2

60歳以上はシタラビン1500mg/m2に減量、ノバントロンは12mg/m2に減量の場合あり

結膜炎予防でマイティア点眼、フルオロメトロン点眼0.02%使用。

レジメン名称	再発難治HAM		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
シタラビン	2000mg/㎡	DIV	180分	day1-4
シタラビン	2000mg/㎡	DIV	180分	day1-4
ノバントロン	10mg/㎡	DIV	30分	day3-5

備考

60歳以上はシタラビン1500mg/m2に減量、ノバントロンは12mg/m2に減量の場合あり

結膜炎予防でマイティア点眼、フルオロメトロン点眼0.02%使用。

レジメン名称	再発難治MEC		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	6mg/㎡	DIV	30分	day1-5
エトポシド	80mg/㎡	DIV	120分	day1-7
キロサイド	50mg/m2×2	DIV	各12時間	day1-7

備考

エトポシド、濃度による析出注意。

レジメン名称	再発難治shortMEC		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	ー
総コース数	ー	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
ノバントロン	6mg/㎡	DIV	30分	day1-3
エトポシド	80mg/㎡	DIV	120分	day1-5
キロサイド	50mg/m2×2	DIV	各12時間	day1-5

備考

エトポシド、濃度による析出注意。

レジメン名称	地固め療法（HD-AraC、キザルチニブ併用）		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	–
総コース数	–	プレメディケーション	グラニセトロン

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
シタラビン	3000mg/m2	DIV	180分	day1.3.5
シタラビン	3000mg/m2	DIV	180分	day1.3.5

備考

60歳以上で1500mg/m2へ減量。最大4サイクル。

ステロイド前処置の場合はソルコーテフ100mg使用。

レジメン名称	低用量シタラビン ＋ ベネトクラクス		
癌腫	急性骨髄性白血病	1コース期間	28日間
総コース数	期限なし	プレメディケーション	－

プロトコール内容

薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
キロサイド	20mg/㎡	s.c	－	day1-10
ベネクレクスタ	100mg/day	p.o		day1
ベネクレクスタ	200mg/day	p.o		day2
ベネクレクスタ	400mg/day	p.o		day3
ベネクレクスタ	600mg/day	p.o		day4-

備考
ベネクレクスタは併用薬に応じて減量(強いCYP3A阻害薬1/8、中程度CYP3A阻害薬1/2)
投与期間を短縮する場合あり